

令和6年能登半島地震に関する
徳島県の被災地支援の状況について（第4報）

本日（1月8日16時現在）の主な動き

1. 徳島県の体制

- 1月1日 情報収集体制（16時30分設置）
- 1月4日 「令和6年能登半島地震担当者連絡会議」設置
- 1月9日 知事・市町村長による「令和6年能登半島地震に関する意見交換会」開催（予定）
「令和6年能登半島地震支援本部」設置（予定）

2. 人的支援

徳島県・県内市町村関係

（1）現地リエゾン

○石川県庁支援チーム

- 1月2日 県職員2名派遣
- 3日 石川県庁他で情報収集、支援物資受入調整業務に従事
- ～5日 帰県

○輪島市支援チーム

- 1月5日 県職員2名派遣（第1陣）
- 6日 輪島市に到着 → 情報収集業務に従事
・総括支援（三重県）の調整により、避難所（輪島市ふれあい健康センター）の運営を担当することが決定
- 7日 県職員2名派遣（第2陣）
- 8日 輪島市に到着 → 情報収集、支援物資受入調整業務に従事
- 9日 県職員2名派遣（第3陣）（予定）

（2）避難所支援チーム

- 1月7日 県職員3名派遣（第1陣）
- 8日 輪島市に到着 → 輪島市ふれあい健康センターにて避難所支援業務に従事

（3）保健師チーム

- 1月8日 県職員3名（保健師2名、事務1名）派遣（第1陣）
・輪島市にて避難住民の健康支援等に従事

（4）入浴支援チーム

- 1月8日 県職員1名、美馬市職員1名派遣
・避難所（輪島市ふれあい健康センター）にて、
「WOTA BOX」による入浴支援に従事（予定）

（5）DPAT（災害派遣精神医療チーム）

- 1月10日 6名（医師1名、看護師3名、精神保健福祉士1名、事務1名）派遣（予定）
・公立能登総合病院（七尾市）に参集、精神科医療活動等に従事

（6）徳島県警

- 1月4日 広域緊急援助隊等26名派遣
- 5日 珠洲市に到着 → 珠洲市野々江町にて捜索救助活動に従事
- 6日 珠洲市野々江町、同飯田町にて捜索救助活動に従事
- 7日 珠洲市飯田町にて捜索救助活動に従事
- 8日 帰県（広域緊急援助隊等）
県警ヘリ「しらさぎ」派遣

日本赤十字社関係

1月10日 日赤災害医療コーディネーターチーム3名（医師1名、事務2名）派遣（予定）

自衛隊（14旅団）関係

1月3日 第14旅団後方支援隊54名派遣
4日 輪島市に到着 → 活動に向けた調整・準備
5日 第14旅団後方支援隊31名追加派遣
6日 輪島市にて給水活動に従事

3. 物的支援

徳島県関係

(1) 支援物資

1月2日 石川県庁リエゾンがマスク、弾性ストッキングを帯同
→3日、石川県産業展示館（物資集積拠点）に搬入
3日 支援物資輸送車により飲料水、食糧、ブルーシートを搬出
→4日、石川県産業展示館に搬入
4日 支援物資輸送車により毛布、携帯トイレ、オムツを搬出
→5日、中能登町役場、宝達志水町役場等に搬入
7日 高橋ふとん店から提供を受けた毛布を搬出
→同日、輪島市東陽中学校に搬入
8日 入浴支援チームが簡易トイレ、アルファ化米等を帯同
→9日、輪島市ふれあい健康センターに搬入（予定）
9日 「WOTA BOX 2式」等、入浴支援資機材を搬出（予定）
・下着、生理用品等を帯同（予定）
支援物資輸送車により簡易トイレ、給水袋等を搬出（予定）
・支援物資は、阿波市、海陽町及び板野町からも提供（予定）

日本赤十字社関係

(1) 支援物資

1月8日 日本赤十字社徳島県支部が同石川県支部へ段ボールベッド、弾性ストッキングを搬出

県内市町村関係

(1) 支援物資

1月3日 徳島市が富山県氷見市役所に飲料水を搬出・搬入
5日 小松島市が石川県産業展示館に飲料水、携帯トイレ、ミルク等を搬出・搬入

(2) 給水支援

1月6日 徳島市が金沢市に給水車1台を派遣
7日 徳島市給水車が穴水町にて給水活動に従事

4. その他支援

(1) 義援金

1月5日 日本赤十字社による義援金の枠組みとして、県庁万代庁舎はじめ県内5か所に募金箱を設置
9日 阿波銀行と徳島大正銀行の協力の下、振込口座を開設（予定）